

会計名			施設整備事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園利用者の安全性・利便性の向上を図る。			主たる内容	利用者にとって快適な環境を整備するとともに、老朽化した施設の改修や補修を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画				事業期間	昭和50年度～		
			根拠法令	児童福祉法						
			対象者	児童・保護者		事業期間	昭和50年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> S L機関車階段付近の転落防止フェンス設置工事 ゴーカートコース補修工事 便所污水管の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 気中開閉器高圧地絡継電器付取替工事 キッズコースター転落防止工事 ミニ新幹線排水工事 操作室内空調設置工事 エレベーター改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 日除けテント設置工事 ポセイドン安全ベルト設置工事 法面改修工事 移動販売車用コンセント盤設置工事 		<ul style="list-style-type: none"> ふわふわドーム改修工事 駐車場フェンス設置工事 空調機設置工事 		
成果		交通児童遊園の施設を必要に応じて整備・改修を進め、利用者の安全性・利便性の向上を図ることができた。								
課題		利用者の安全性・利便性を継続的に確保していくため、計画的に施設の修繕整備を進めていく必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度				
成果指標	交通児童遊園乗物利用者数（人）	1,336,363	1,332,598	1,449,297	1,500,000	1,600,000				
指標										
他市との比較検証										
Cコスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		5,000	5,395	62,264	16,000	合計	62,263,640円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	58,600円		
		一般財源	5,000	5,395	62,264	16,000	役務費	118,000円		
	職員人件費②		1,403	1,056	1,567	1,521	工事請負費	62,087,040円		
	総事業費（①+②）		6,403	6,451	63,831	17,521				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設整備事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館
3	2	5			
C H E D C K ハ 評 価	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	来園者の熱中症対策としての日よけテントの設置や安全面を考慮した整備工事を施工した。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	業者の選定等に留意しコストの節減をこころがけ、快適性の向上など整備効果があった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市内外からの来園者も非常に多く、安全快適に利用してもらうため必要な整備工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	子どもたちが楽しみながら家族とふれあうことのできる場所と機会を安全かつ快適に提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き大型遊具等施設の整備を継続し、来園した子どもたちが安全に快適に過ごせる場の提供に努める。					

会計名 一般会計			夢と学びの科学体験館管理運営事業				担当部	次世代育成部			
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館			
3	2	4					担当係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	子どもの居場所づくり								
	目的	夢と学びの科学体験館で科学体験講座などを行い、科学の楽しさを体験できる機会を創出する。			主たる内容	○サイエンスショーの実施 ○館内施設機能を維持するための各種点検や清掃、保守管理、警備等の実施					
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画								
			根拠法令	児童福祉法							
		対象者	市民		事業期間	平成27年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーを実施した。 加藤与五郎実験教室を実施した。 科学体験講座を実施した。 簡単工作を実施した。 案内用デジタルサイネージを設置した。 館名表示看板を設置した。 		<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショーを実施する。 加藤与五郎実験教室を実施する。 科学体験講座を実施する。 簡単工作を実施する。 			
成果		サイエンスステージ企画運営業務を委託し実施した。同志社大学に依頼し加藤与五郎実験教室を実施した。デジタルサイネージ、館名表示看板を設置し来館者への利便性を高めた。科学体験講座、簡単工作を実施した。									
課題		来館者のニーズを捉えつつ、科学への興味を高めるサイエンスショー、科学体験講座、簡単工作を実施していく。引き続き同志社大学と連携し加藤与五郎実験教室を実施し、子どもたちにより深く科学への興味を持たせる。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標	来館者数（人）			—	—	164,724	170,000	180,000			
指標											
他市との比較検証	_____										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費①		0	0	44,784	45,179	合計	44,784,231円			
	財源	特定財源	0	0	3,038	2,780	報償費	54,000円			
		一般財源	0	0	41,746	42,399	需用費	17,240,867円			
	職員人件費②		0	0	14,102	16,350	役務費	257,322円			
	総事業費（①+②）		0	0	58,886	61,529	委託料	22,435,244円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 児童館事業費寄付金 実験ラボ参加費							
29年度以降の事業費見込		0									
						使用料及び賃借料	1,527,358円				
						工事請負費	3,259,440円				
						負担金、補助及び交付金	10,000円				

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	
3	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	普通	科学技術に関する知識を小中学生を中心とする幅広い世代の市民にわかりやすく伝え、市民と科学の架け橋としての役割を果たしている。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	寄付金収入による館内案内用設備設置、民間団体の協賛を得て大学との連携により高度な科学的講座を開催する等、より効率的に効果の高い運営に努めている。サイエンスショー等の業務委託など専門性の高い事業をより効率的に実施するように努める。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	「ものづくりのまち刈谷」や理科教育を推進する刈谷を感じてもらえるよう科学体験、サイエンスショーを通して科学の楽しさを体験できる機会を創出することにより、科学への興味を深めてもらうと共に刈谷への知識も持ってもらえるよう努める。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	来館者に科学体験、サイエンスショー、科学教室等適切なサービスを提供することにより、科学に対する知識・興味を持ってもらい、「ものづくりのまち刈谷」紹介展示を通して、広く知ってもらえるよう多くの来館者を迎えることができる様に努める。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
科学体験、サイエンスショー、簡単工作など科学に興味を持ってもらえる情報の提供と体験をとおして、「ものづくりのまち刈谷」、理科教育を推進する刈谷のイメージ作りを今後も図っていく。また、施設の維持管理・運営については事業委託など効率的な運営を行いコストダウンに努める。来館者の多い休日運営を今までどおり進めていくと共に、平日の運営を見直すことにより、学校行事の振替休日による休校日にも子ども達の居場所づくりとしての価値を高める。教育機関、民間団体との連携により、より専門性の高いプログラムの提供を行い、科学への興味、ものづくりへの興味をより多くの子どもたちに持ってもらえるよう努めていく。					

会計名 一般会計		夢と学びの科学体験館オープニング記念事業				担当部	次世代育成部		
款	項					目	担当課	夢と学びの科学体験館	
3	2					4	担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	市制施行65周年を記念するとともに、「夢と学びの科学体験館」の開館を記念して科学にちなんだイベントを行い、科学体験館や市をPRし、次世代を担う子どもたちを中心に科学を体験できる機会を創出する。	主たる内容	○米村でんじろうサイエンスショー ○プラネタリウム特別上映及び特別企画展					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		・米村でんじろうサイエンスショーの開催 ・夏休み特別展「はばたき恐竜展」の実施及び連動プラネタリウム番組「オーロラを見た恐竜たち」放映		_____	
成果		夢と学びの科学体験館オープニング記念事業として米村でんじろうサイエンスショーを総合文化センターで開催。学校の夏休み期間に合わせて「はばたき恐竜展」開催。連動してプラネタリウム番組「オーロラを見た恐竜たち」を放映。いずれも多くの観覧者を迎えることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		米村でんじろうサイエンスショー来場者（人）			—	—	2,943	—	—
活動指標		はばたき恐竜展来館者（人）			—	—	40,512	—	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	9,434	0	合計	9,434,013 円	
	財源	特定財源	0	0	4,601	0	需用費	224,401 円	
		一般財源	0	0	4,833	0	役務費	323,042 円	
	職員人件費 ②		0	0	8,618	0	委託料	8,578,320 円	
	総事業費（①+②）		0	0	18,052	0	使用料及び賃借料	308,250 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料 諸収入					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			夢と学びの科学体験館オープニング記念事業	担当部	次世代育成部
款	項	目		担当課	夢と学びの科学体験館
3	2	4		担当係	
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	科学にちなんだイベントを行うことにより、科学体験館や刈谷市のPRとなり、子どもたちに科学に触れ合う機会が創出できた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	大変多くの来場者があり費用対効果は高く、刈谷市の魅力を市内外に広く発信できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市制65周年記念事業の一環として、市民に夢と学びの科学体験館リニューアルオープンを周知すると共に普段体験できない催しを提供できた。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	次世代を担う子どもたちに科学への関心を高められ、想像力を豊かにでき、広く刈谷市の魅力も発信できアピールすることができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
夢と学びの科学体験館オープニングを記念した事業であり、今後は他の事業に集約をしていく。					

会計名 一般会計			特別企画展開催事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館	
3	2	4					担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	夢と学びの科学体験館の知名度の向上及び上質な市民サービス・健全な児童育成の場の提供をより広げることを目的とする。			主たる内容	夢と学びの科学体験館において、学校等長期休業中に、それぞれ特別企画として展示等関連企画イベント、プラネタリウム運動番組放映を催す。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	市民		事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
						冬休み企画くるりんぱ展、プラネタリウム「くるりんぱatプラネタリウム」 春休み企画、つながる、プラネタリウム「スターリーテールズ」		夏休み企画、いきものワンダーランド プラネタリウム「小さな世界はワンダーランド」 冬休み企画展、プラネタリウム 春休み企画展、プラネタリウム	
成果		学校等の冬、春の長期休業時に合わせて、企画展及びそれに連動したプラネタリウム番組を放映することにより多くの来館者を迎えることができた。							
課題		開催時期により来館者数のばらつきが見られることから、費用対効果を精査し、企画等提供者選択をしっかりと行い効率的に事業が進められるようにする。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	期間中来館者（人）		—	—	36,261	88,000	91,000		
指標									
他市との比較検証	同様の運営を行っている館が少なく、刈谷市と同程度の市において他科学体験において特別企画展も見当たらず、独自の企画であると思われる。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	6,973	22,565	合計	6,973,459円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	301,579円	
		一般財源	0	0	6,973	22,565	委託料	6,671,880円	
	職員人件費②		0	0	8,226	11,027			
	総事業費（①+②）		0	0	15,199	33,592			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		—					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			特別企画展開催事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館
款	項	目		担当係	
3	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	学校の長期休暇にあわせ特別展示を行うことにより、子どもたちの科学への興味を高めることができ、休暇中に行うことにより家族みんなで出かけることもできるため、家族みんなで過ごす時間を創出することもできる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	時期を限定して行うことにより、より興味を高めることができ、短期間に多くの動員を図ることができる。ただし、すべての時期が同様に集客を図れるわけではないため効率性を考える必要もある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	理科教育、科学への興味を子どもたちから持たせることにより、教育効果を高めると共に、特別企画展開催により普段と違うものづくりや科学への興味を持たせることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	長期休暇中の子どもたちの居場所として家族ぐるみでも過ごせる場の提供をおこない、新たな来館者のきっかけ作りや再来館へつなげ、集客につなげられると共に多彩な科学的情報の提供等を行う。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>学校の長期休暇中の子どもたちの居場所づくりとしての価値を高めるとともに、教育機関、民間との連携により、より専門性の高いプログラムの提供を行い、科学への興味、ものづくりへの興味をより多くの子どもたちに高めてもらえるよう努めていく。</p>					

会計名			一般会計 一ツ木児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	一ツ木児童館を適切に管理・運営をすることにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。		主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、地域児童館の管理・運営を行う。 開設場所 一ツ木福祉センター内				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果		指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。							
課題		平成27年度に引き続き、新しい行事を展開し魅力的な児童館の運営に努めること。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		一ツ木児童館開館日数（日）			308	307	309	309	309
成果指標		一ツ木児童館利用者数（児童クラブを除く）（人）			16,046	18,808	16,083	18,600	19,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		8,018	8,327	8,560	8,527	合計	8,560,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,560,000円	
		一般財源	8,018	8,327	8,560	8,527			
	職員人件費②		2,104	1,056	1,567	1,521			
	総事業費（①+②）		10,122	9,383	10,127	10,048			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	交通児童遊園の指定管理者として都市施設管理協会を指定し、施設の適正な管理運営を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	児童・保護者		事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。	
成果		児童に健全な遊び場でありその健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を、安全で効率的に管理運営することができた。							
課題		利用料金が安く本格的な遊具が揃っているというマスコミの情報提供により、施設の受入能力以上に人が集中し混雑することがあった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		交通児童遊園開園日数（日）			297	290	286	300	300
成果指標		交通児童遊園乗物利用状況（人）			1,336,363	1,332,598	1,449,297	1,500,000	1,600,000
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		89,052	96,866	100,457	112,627	合計	100,457,187円	
	財源	特定財源	63,878	72,186	78,208	69,229	役務費	29,628円	
		一般財源	25,174	24,680	22,249	43,398	委託料	100,427,559円	
	職員人件費②		701	1,056	1,567	1,521			
	総事業費（①+②）		89,753	97,922	102,024	114,148			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		交通児童遊園使用料					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			なののはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館	
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	地域の児童館として、なののはな児童館を適切に管理・運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。	主たる内容	なののはな児童館の指定管理管理者として市川商事株式会社を指定し、地域児童館の適切な管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなののはな2階					
	位置づけ	関連計画		刈谷市次世代育成支援行動計画					
		根拠法令		児童福祉法、児童館ガイドライン					
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成23年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果		指定管理者として市川商事㈱を指定し、なののはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。							
課題		平成28年度は指定管理者が医療法人光慈会に変更になるが、平成27年度に引続き子どもたちにむけての行事を展開し魅力的な児童館の運営に努める。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		なののはな児童館開館日数（日）			308	307	308	309	309
成果指標		なののはな児童館利用者数（人）			8,513	8,576	9,151	9,500	10,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		4,054	4,050	4,187	4,244	合計	4,187,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,187,000円	
		一般財源	4,054	4,050	4,187	4,244			
	職員人件費②		2,104	1,408	1,959	1,901			
	総事業費（①+②）		6,158	5,458	6,146	6,145			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	夢と学びの科学体験館		
3	2	4					担当係	夢と学びの科学体験館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	プラネタリウムで一般投映・学習投映を実施し、子どもたちの星や宇宙への関心を高める。	主たる内容	○一般投映番組及び幼保、小中学校向け学習投映用番組の投映 ○プラネタリウムコンサート及びプラネタリウム講演会の開催 ○プラネタリウムの性能を維持するための保守管理						
	位置づけ	関連計画		刈谷市次世代育成支援行動計画					根拠法令	
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和56年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・一般投映（季節の投映） ・学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） ・一般投映用番組の制作 ・学習投映用番組の一部改訂		プラネタリウム機器更新のため投映なし		・一般投映（オリジナル番組等の投映） ・学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4,6年生・中学1年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		
		成果	子どもたちの星や宇宙への関心を高めるため、更新したプラネタリウム機器により一般投映のほか、学習投映、特別投映を行い市内外の子どもたちをはじめ多くの人に鑑賞してもらうことができた。また、プラネタリウムの特性を活かしたコンサート、講演会を行い、広い年齢層の人にプラネタリウム施設を紹介できた。							
課題		より多くの人に楽しんでもらえるよう番組制作や投映方法について方策を立て、様々な番組等情報の提供を行うことにより、星や宇宙への興味を高め、より多様な来館者の確保に努める。								
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	活動指標	プラネタリウム投映回数（回）			372	—	690	707	707	
	成果指標	プラネタリウム入場者数（人）			31,955	—	47,357	51,000	52,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		8,715	314	10,339	25,925	合計	10,338,990円		
	財源	特定財源	611	0	5,852	8,761	旅費	95,760円		
		一般財源	8,104	314	4,487	17,164	需用費	4,153,250円		
	職員人件費②		7,715	3,520	6,659	7,605	役務費	7,020円		
	総事業費（①+②）		16,430	3,834	16,998	33,530	委託料	164,400円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		プラネタリウム使用料						
29年度以降の事業費見込		0								
使用料及び賃借料				5,893,560円						
負担金、補助及び交付金				25,000円						